

令和2年度
発生予察情報

特殊報第3号

令和2年10月13日
埼玉県病虫害防除所
(TEL:048-539-0661)

Singapora shinshana (Matsumura) (和名なし) の発生について (ヨコバイ科の一種)

県西部のウメにおいて、多数発生していたヨコバイ科の一種を採取し、九州大学に同定を依頼した結果、*Singapora shinshana* (Matsumura) (和名なし) であることが判明した。

* 特殊報：新規の有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発消長に特異な現象が認められた場合に発表するものです。

1 害虫名 *Singapora shinshana* (Matsumura) (和名なし)
(ヨコバイ科の一種)

2 対象作物 ウメ

3 発生経過

本年9月に、県西部においてウメの葉を加害するヒメヨコバイ類の成虫および幼虫が発見された。この成虫の同定を九州大学大学院農学研究院 紙谷聡志博士に依頼した結果、*Singapora shinshana* (Matsumura) であることが判明した。

本種の発生は、国内では沖縄県、和歌山県および徳島県で確認されているが、本県での発生は初めてである。海外では、中国、台湾、韓国および北朝鮮で確認されている。

4 本種の特徴及び生態

成虫の体色は黄緑色で、体長は3~3.5mm。複眼は黒色で、頭頂部に黒点がある(写真1、2)。本種はウメ、モモ、リンゴ等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポー、ポプラ等を加害することが報告されている(Caoら、2014)。

5 被害の特徴

成虫および幼虫が葉を加害し、多数の細かい吸汁症により、葉の表面が白化する(写真3)。被害葉の裏側に幼虫の脱皮殻が付着する(写真4)。吸汁された葉は、落葉することがある。

6 防除対策

(1) 本種に対して適用のある農薬はない。

(2) 被害葉の早期発見に努め、発見した場合は速やかに被害葉を除去し適切に処分する。

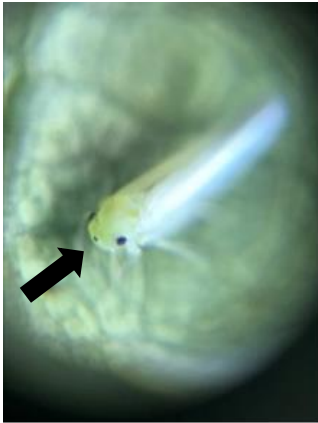


写真1 特徴（頭頂部に黒点）



写真2 葉裏に寄生する *S. shinshana*



写真3 ウメの被害葉（表）



写真4 ウメの被害葉（裏）